

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年4月1日

団体名 LICC 日本語教室

代表者 河合 光好

構成員 20 人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的:団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

岡崎市及び近隣に在住する外国人市民に対して、日本における円滑な生活を実現させたり日本語学習の支援及び日本文化の紹介や生活知識等を提供し、多文化共生の推進に寄与することを目的とする

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。

なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
令6.4.13~ 令7.3.22 毎週土曜日の 午前及び午後	リナラ3F LICC研修室 会議室	外国人市民	約 1,247人	外国人市民に対する日本語修得 学習の支援
令6.9.7	リナラ3F LICC研修室 302会議室	外国人市民	28人	「おしゃべり会」 ゲーム形式で日本語学習交流を 行った(講師・学習者・外部指導者のコミュニ ケーション)
令6.11.16	リナラ3F LICC研修室	外国人市民	37人	「防災教室」 南海トラフ地震への備えを学習。写真・ビデオ 付資料を使ってわかりやすく説明。他にも 火災・地震への備えも学習した
令7.2.15	リナラ3F LICC研修室 302会議室	外国人市民	20人	「成果発表会」 日本語を駆使したゲームを通じて 1年間の学習成果を披露した

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

外国人市民に対し、日本語能力の向上が図られた。また、日本語能力検定試験に合格
した学習者も多く、日常生活及び業務対応において大いに寄与できた。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← (5) 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

外国人市民への日本語支援や生活知識を提供することにより、外国人市民の生活・
業務対応力向上、及び多文化共生の発展に大きく貢献していると考えます

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。